▲小俣卓也の暗号資産（BTC）アナリストレポート▲

2021 年 3 月 3 日

もう 1 週間経ちましたね。
今週もレポートの時間になりました！

私のビットコイン売買レポートは、毎週、長期、中期、短期のトレードタイミングを具体的に書いていきます。
勝つためには、安全を確保しなければならない為、トレード自体を行わない時期もあります。
また、短期タイミングに関してですが、短期の場合リアルタイム性が重視されますので、このレポートは概況をお伝えする形式を取り、リアルタイムな配信は Twitter もしくは、会員向け LINE で行うようにしています。

しかしながら、短期はギャンブル的になりがちなため、基本的には長期、中期の長いトレンドを見ながら、安全な資産運用を中心に行なっております。
短期トレードに関しては、ご自身の判断が必要な場合がありますから、この辺りは今後の対応策を考えているところです。

文章の最後には、毎回恒例の暗号資産投資のルールが書いてあります。
これは、私がアドバイスする場合に必ず守って頂く基本になります。
投資はルールを守って、安全、安心を第一におこないましょう。

前回のレポートで、ビットコインの中期トレンドが 3 月末頃まで調整に入ったとお伝えしました。
しかし、この調整が終了した可能性が出始めています。

詳しくは、これから書いていきます。
それでは、早速、長期トレンドから、中期、短期と順番に見ていきましょう。

■長期トレード

2 月末からビットコインは約 600 万円の価格から下降を開始しました。
その間、約 450 万円まで価格を下げた状況ですが、約 410 万円を下回ることなく価格を回復させつつあります。

この調整期間で、どんなことが起こっているのかを書いていきます。
ビットコインの分析には 12 種類の要素で検証します。

大まかに書いていきますが、まず一目均衡表の遅行スパンが実体価格に近づいていることがあります。
これは、反発するなど大きな値動きになる可能性が出ているということです。
また、オシレーター系のインジケーターでも、GMMA や RCI などの数値をチェックして、そろそろ全体的に回復の兆しが見えている状況にあります。

ただ、私が参加する AI（人工知能）ロボトレードでは、買いのタイミングは示唆されていませんので、楽観的になってきたという程度で見ておきましょう。
MACD でも濃い赤色だった表示が薄い赤に変化してきています。
RCI も底値から上に抜け始めており、これも良い状況です。
このようなインジケーターの状況から、回復の兆しが見て取れます。

また、中期のトレンドラインも、今日の日足の状況では上昇傾向を示しているので、価格は切り上がってきている状況です。

つまり、いつ反発してもおかしくないエネルギーが溜まっていっている状況と見て良いでしょう。

他にも、グラスノードというデータ分析サイトの SOPR は、損をしているか儲かっているのかを表示しますが、損をしている時に動かしている上昇相場が、ひさしぶりにマイナスとつけました。
去年 9 月以来の底打ちの可能性が示唆されています。

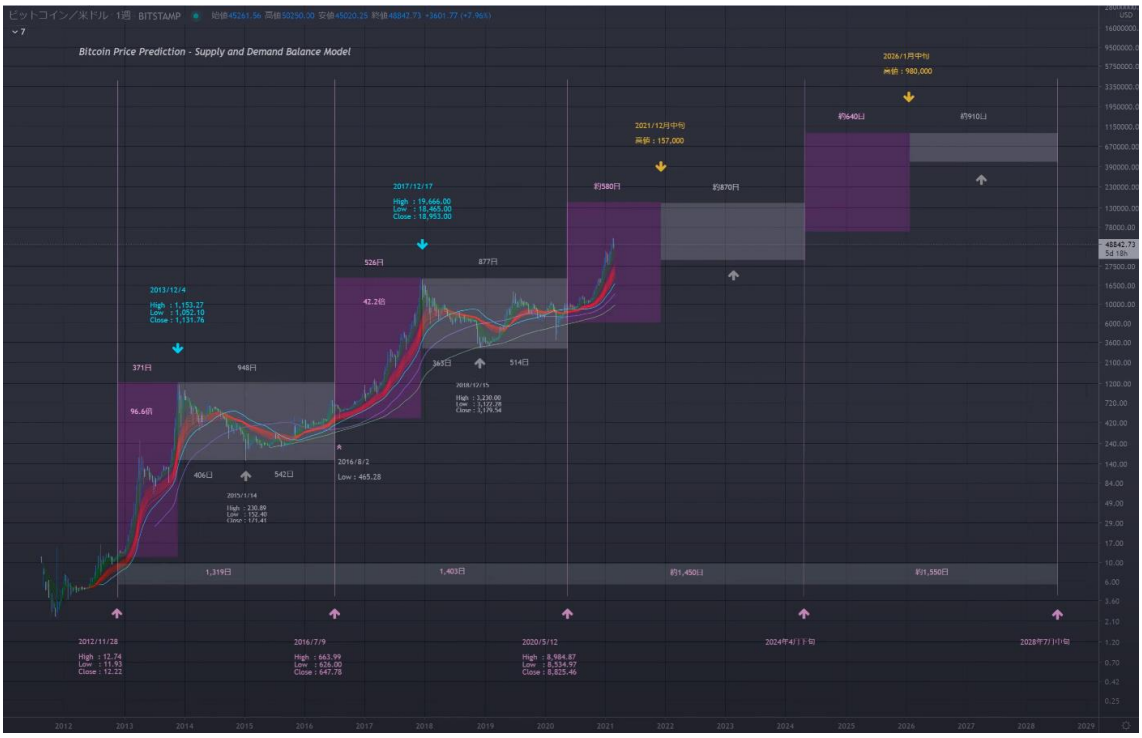
また、前回の記事に書いたように、全世界の取引所の状況からもガチホ勢が取引所にビットコインを移動していないことが確認できています。

その他にも、様々な分析があるのですが、ここではまずは状況をお伝えしました。

整理します。
以前からも同じく、長期は、上昇基調です。
中期トレンドも調整期間から徐々に回復していく傾向があります。

しかし、まだ、完全に中期トレンドが回復したわけではありません。

そんな時は、あれですね。
現物の買いは、以前のレポートでもお伝えした、「ドルコスト平均法」の活用をオススメします。



長期（週足対数チャート）

■中期トレード

長期のところでも書きましたが、中期トレンドは回復傾向にあります。

しかし、急な値動きなどが起こる場合があるので、目先は余裕を持って見ておくことが良いでしょう。

AI（人工知能）ロボトレードが買いを示唆しているわけではないので、また、中期のレバレッジトレードはタイミングではありません。

ビットコインの過去の歴史からも、３月は調整期間となり、４月５月で上昇ということが多いので、少々注意は必要ですが、回復に向かうことは良い傾向です。

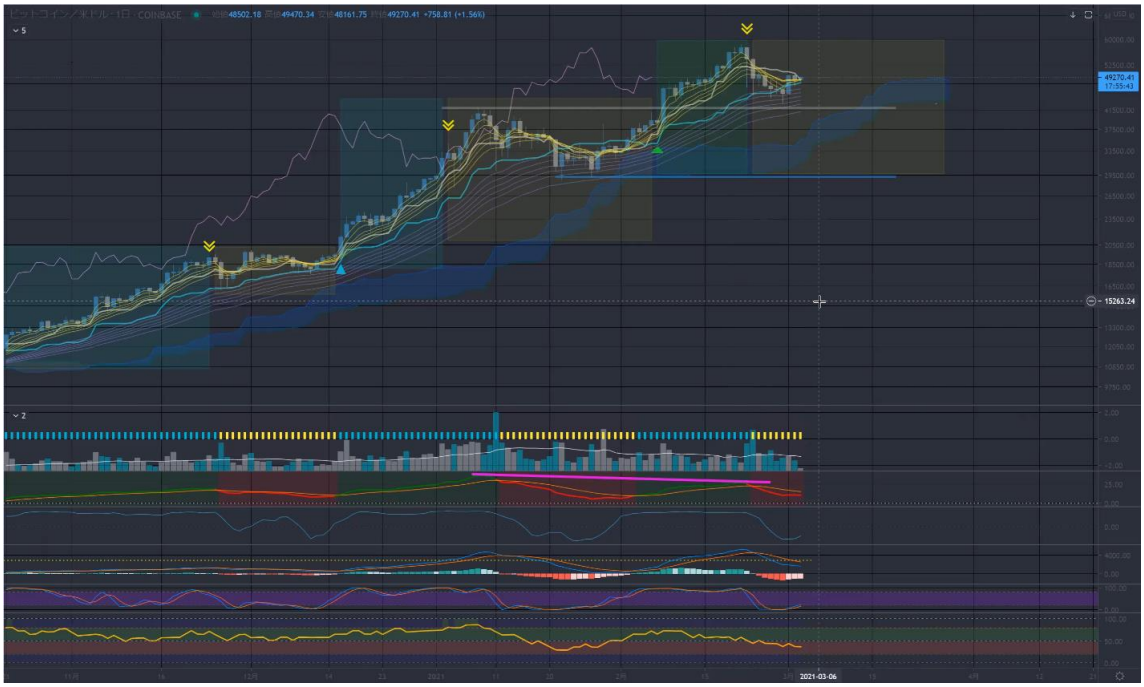
整理します。

中期は、上昇トレンドは調整からの回復期の様子。

したがってまだ、中期のレバレッジトレードは、行いません。
もう少し待ちの時間ですね。
ゆっくり休んで来るべき日を待ちましょう。

いつも書いていますが、待つのも投資です。

ただ、長期は上昇継続ですから、「ドルコスト平均法」などで現物を買い増しておくのも良い時期ですね。



中期（日足チャート）

■短期トレードに関して

次に、短期ですが長期は上昇継続ですが、中期上昇トレンドがまだ上昇を表したわけではありません。
そんな時期なので、短期トレードは行いません。

危険を回避して、勝つ確率の高い時に、安全なトレードをしましょう。

投資はギャンブルではないのですから。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

まとめ

今回も、長期は上昇継続ですが、中期は調整を抜け出しているところといった形です。
したがって、短期もトレードタイミングは発生しません。

こんな時には、以前に書いた「ドルコスト平均法」を活用して、現物を増やしておくことが得策でしょう。

長い目で見た投資戦略がとっても大切です。

Twitter でも情報を発信していますので、合わせて利用してみてください。

ルールに従い、丁寧に利益を上げていきましょう。

今週も読んでいただき、ありがとうございます。

※小俣卓也の投資目線※

このレポートは、暗号資産アナリスト小俣卓也が配信するビットコインの売買タイミングをお知らせするレポートです。

暗号資産投資には、ちょっとしたルールがあります。
このルールを知っておくことで、皆さんがより安全で安心できる売買を可能にします。

以下に 5 つのルールを書いておきます。
よく読んでくださいね。

また、私の投資判断には、供給量や半減期を元にリアライズドマーケットキャップを計算し、並行してハッシュリボンや MACD などのインジケータや指数平滑移動平均線などのデータをもとにディープラーニングを行い長期、中期、短期の売買タイミングを見定めています。
それぞれの解説も書いていきますので、お楽しみに。

‼重要‼

★トレードの 5 つのルール★

ルール 1

『何のためにトレードを行うのか？』
これはとても重要なことで、共通の認識としてルールに入れておきたいと思います。
そもそも、トレードの目的は安全で確実な時期を見定めて、資産を増やすことです。
その為には、レンジ相場や値動きが読みにくい時期は、あぶないトレード時期と判断して、トレードは一切行いません。

ルール 2

『徹底したトレードのタイミング』

長期トレンドと合わせて、中期もしくは短期のトレードチャンスが起きた場合にのみ、トレードを行います。

その理由は、長期トレンドの期間にも相場は上下運動を繰り返しますが、その相場の上下運動を中期もしくは短期のトレンドとして捉え、長期トレンドと一致した場合にトレードを開始し、中期、短期のトレンド転換期には売却して利益を確定させます。

ルール 3

『長期、中期、短期のトレンドについて。』

長期＞中期＞短期

この順序で、トレンドを分析します。

その理由は、長期のトレンドはビットコインの供給量や半減期などを勘案して計算しています。

その計算から、ビットコインは基本的に長期は上昇トレンドであり、長期とは 3 年から 4 年のことです。

中期、短期は、長期トレンドの中で変化していますので、長期トレンドを最も重要視して、中期、短期のトレンドを捉えることが重要になります。

ルール 4

『現物とレバレッジに関して、リスクに晒す資金は非常に少なくすること。』

長期トレードの場合

現物保有は、皆様の流動性資産全体の 5% ～10%以内とすることをおすすめします。

中期トレードの場合

リスクは 10%以下、レバレッジ 1 倍から上限 2 倍まで。

短期トレードの場合

短期売買に充てる資金は少なく、レバレッジを 10 倍以上はかけないこと。

※レバレッジは、中期も短期も低めに設定すること。

ルール 5

『中期、短期は、レバレッジを掛けたトレードになります。
その為、レバレッジトレードを行う場合は必ずストップロスをかけておくこと。』

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

以上が、今回の定期レポートとなります。
次回のレポートをお楽しみに。

わからないことなどあれば、下記の問い合わせフォームで問い合わせください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

『COIN CHOICE』

URL: https://successc.tokyo/coin/

Twitter: @omatacoin

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

■株式会社 Success Club 投資顧問

※受付時間（平日 9:00～16:00）

▽ 電話からのお問い合わせ

03-5643-5301

▽サポートデスク

https://successc.tokyo/contact/

■金融商品取引法第 37 条に基づく表示

商号 ： 株式会社 Success Club 投資顧問

業務内容 ： 投資助言・代理業

登録番号 ： 関東財務局長（金商）第 1046 号

■投資顧問間契約に係るリスクについて

国内上場有価証券等には株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ（元本欠損リスク）、または元本を超過する損失を生ずるおそれ（元本超過損リスク）があります。

信用取引を行う場合は、信用取引の額が当該取引等についてお客様の差入れた委託保証金または証拠金の額（以下「委託保証金等の額」といいます）を上回る場合があると共に、対象となる有価証券の価格または指標等の変動により損失の額がお客様の差入れた委託保証金等の額を上回るおそれ（元本超過損リスク）があります。手数料等およびリスク等については、当該商品等の契約締結前交付書面やお客様向け資料等をよくお読みください。

■免責事項

ホームページ及びメール上での提供情報は著作権法によって保護されており、株式会社 Success Club 投資顧問（以下「弊社」）に無断で転用、複製又は販売等を行う事を固く禁じます。情報提供は、弊社の情報提供を目的とするものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、これらの情報のいずれも、将来の運用成果を約束するものではありません。実際の取引（投資）商品の売買におきましては、自己資金枠等を十分考慮した上で、ご自身の判断・責任のもとご利用下さい。弊社は、提供情報の正確性、完全性を保障するものではなく、会員様が提供情報の内容に基づいて行われる取引、その他の行為、及びその結果については、これ

を保証するものではありません。また、これら情報に基づく取引その他の行為により被った如何なる損害についても弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。

■重要事項、及び注意事項

投資顧問契約にあたっては「金融商品取引法第３７条の３」の規定に基づき、ご負担頂く助言報酬（以下「情報提供料金」）や、助言の内容および方法（以下「提供サービス内容」）、リスクや留意点を記載した「契約締結前交付書面を予めお読み頂き、内容をご理解の上ご契約をお願いしております。ご契約に関する事前の注意事項、情報提供料金、提供サービス内容に関しましては、各商品の詳細ページにて事前にご確認頂き、内容をご理解の上お取引下さい。金商法上の有価証券等の投資商品には、相場や金利水準等の価格の変動、及び有価証券の発行者等の信用状況の悪化や、それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ（元本欠損リスク）、または元本を超過する損失を生ずるおそれ（元本超過損リスク）があり、投資手法によっても同様の損失が生ずるおそれがあります。

Copyright(C)2021　Success Club All Rights Reserved.

これからもよろしくお願いいたします。

暗号資産アナリスト

小俣卓也